

(2019年度)

1 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は22ページ, 4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能を使用してはならない。また, スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

- 1 イラン史に関する次の文章を読み、問(1～4)に答えなさい。解答は、問1は選択肢(a～d)から、問(2～4)は選択肢(a～e)から、最も適切なものを1つ選びなさい。

アッパース朝が衰退した後、イラン高原にはイラン人の政権であるサーマーン朝や(1)が生まれたが、その後数百年間、イラン人は異民族に支配された。(2)やヘラートを中心に栄えたティムール朝が1507年に(3)人によって滅ぼされる変動期に、1501年、イラン人の手によって(4)を都とする(5)が建てられた。(5)の建国者(6)は神秘主義教団の教主で、トルコ系遊牧民を支配下に置いて勢力を拡大したのだった。(5)では、国王の称号としてアラブ的なスルタンではなく、イラン固有の(7)を使用し、シーア派を国教とした。そして(8)が主流である西の隣国(9)や、東の隣国(10)と対立した。

(5)の全盛期は、第5代国王(11)の治世のころである。彼は(9)からアゼルバイジャンやイラクの一部を奪回し、ペルシア湾の(12)からポルトガル人を追い払い、都を(13)に移した。「(13)は世界の半分」と言われるほど、商業や文化が発展した。しかし、(5)は(11)の死後に国力が衰え、アフガン人の侵入を受け、1736年に滅亡した。

(5)滅亡後、政治的に混乱したイラン高原を18世紀末に統一したのは、(14)を都としたトルコ系の(15)で、この国は19世紀には、ロシアとイギリスの進出に苦しめられた。ロシアと1828年に結んだ(16)条約は、ロシアに(17)の大半を割譲しただけでなく、治外法権を認めるものであり、諸外国と結ぶことになる不平等条約の始まりだった。一方、イギリスはインドから進出し、ロシアの(18)進出を恐れて1880年に(18)を保護国化し、(15)とも武力衝突していた。このような列強の侵略とそれに対する自国政府の無策に対して、19世紀半ばに(15)で(19)が起こるが、これは徹底的に弾圧された。19世紀末になると、イギリス商人に利権を譲渡した(15)政権に対して、商人や知識人たちは(20)を起こした。この反英・反国王の運動が、イラン＝ナショナリズムの起点とされている。

20世紀にはいると、日露戦争の刺激を受けて、イランでは(21)が起こり、議会開設や憲法制定が行われたが、数年で挫折した。イギリスとロシアは1907年の(22)によって、イランにおける相互の勢力範囲を設定し、イランの内政・外交に干渉した。この状況を変えたのがロシア革命である。ソ連はイランから手を引き、イギリスは1919年にイランを保護国化した。そして、これに反対した勢力によりクーデタが起こり、(15)は崩壊した。

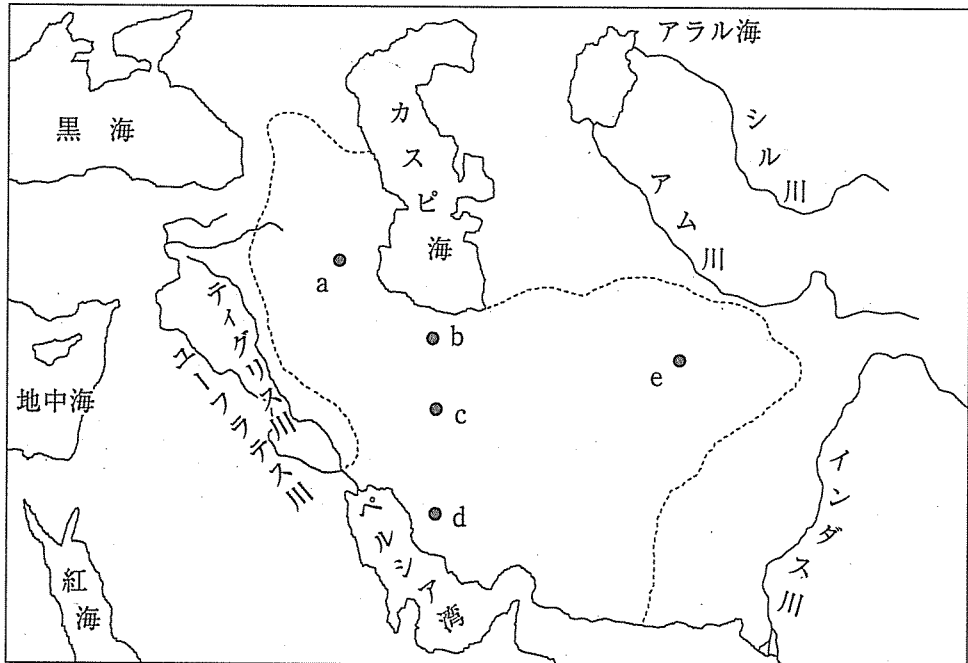
問1 文中の空欄(1~22)に入る語はどれか。

- (1) a ガズナ朝 b ブワイフ朝 c マムルーク朝
d ハルジー朝
- (2) a カシュガル b サマルカンド c バグダード
d ブハラ
- (3) a アルメニア b ウズベク c ソグド d タタール
- (4) a イスファハーン b サマルカンド c タブリーズ
d ペルセポリス
- (5) a カージヤール朝 b ササン朝 c サファヴィー朝
d ムガル帝国
- (6) a イスマーイール1世 b セリム1世 c バヤジット1世
d ホスロー1世
- (7) a アミール b シャー c ツァーリ d ハン
- (8) a シーア派 b 十二イマーム派 c スンナ派(スンニー)
d ワッハーブ派
- (9) a イル=ハン国 b オスマン帝国 c セルジューク朝
d マムルーク朝
- (10) a カラハン朝 b ゴール朝 c 奴隸王朝 d ムガル帝国
- (11) a アッバース1世 b サラディン(サラーフ=アッディーン)
c スレイマン1世 d ハールーン=アッラシード
- (12) a アデン b ティルス c ホルムズ島 d マリンディ

- (13) a アグラ b イスファハーン c シーラーズ
d タブリーズ
- (14) a アグラ b カーブル c カンダハル d テヘラン
- (15) a アフガン王国 b カージヤール朝 c ロディー朝
d ブハラ=ハン国
- (16) a アドリアノーブル b サン=ステファノ c セーヴル
d トルコマンチャーイ
- (17) a アルメニア b アゾフ海北岸地域 c アナトリア
d アラル海南岸地域
- (18) a アフガニスタン b カシミール c シリア
d 東トルキスタン
- (19) a ウラービー(オラービー)運動 b シバーヒーの反乱
c バーブ教徒の乱 d マフディー運動
- (20) a タバコ=ボイコット運動 b ドンズー運動
c 非暴力・不服従運動 d ヒラーファト運動
- (21) a 三月革命 b 七月革命 c 十月革命 d 立憲革命
- (22) a 英露協商 b サイクス=ピコ協定 c テヘラン会談
d ラバロ条約

問2 下線部(ア)の都市は、下の地図上のどれに当たるか。

16世紀後半のイラン



問3 下線部(イ)を象徴的に表しているような、この町に建てられた壮麗な建物は何か。

- a イマームのモスク b ウマイヤ=モスク c カーバ聖殿
d クトゥブ=ミナール e スレイマン=モスク

問4 下線部(ウ)の運動に影響を与えたといわれる、パン=イスラーム主義の提唱者はイラン出身者である。その人物は誰か。

- a アフガーニー b アンバードカル c テイラク
d ムハンマド=アブドゥフ e ムハンマド=アフマド

2 次の文章(1～4)は日本留学経験をもつ中国近現代史上の人物に関する記述である。これを読んで、以下の問(1～8)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

(1) この人物は、幼い頃から伝統的な儒学教育を受けて成長したが、1902年に日本へ留学して西欧の啓蒙思想を本格的に学んだ。彼が刊行した雑誌(ア)では、「民主」と「(イ)」という二つのキーワードによって西欧近代文明を高く評価し、たちまち論壇の寵児となり、北京大学の教授にも就任した。その後、パリ講和会議で中国側の要求が退けられたことをきっかけに、啓蒙思想の限界を認識して思想的転換を遂げた。すなわち、(ウ)を創設し、その初代のリーダーに就任したのである。ところが、革命運動が挫折すると、その責任をとらされて(ウ)から除名された。その後は、トロツキーの思想に共鳴して独自の革命活動を継続したが、逮捕されて5年間にわたって投獄された。最後は、1942年、戦時下の重慶郊外で病死した。

(2) この人物は、1917年に日本に留学し、東亜高等予備学校で学んだ経験をもっている。留学中には、京都にも滞在し、嵐山には彼の詩碑がある。このとき、日本の著名なマルクス主義経済学者の河上肇が創刊した雑誌『社会問題研究』を熱心に読んだという。帰国後、天津学生連合会の指導者となり、革命団体「覚悟社」を結成した。その後、パリやベルリンにも留学し、中国共産主義青年団ヨーロッパ支部の責任者に選出された。このとき、後に中国の改革・開放政策を主導した(エ)も、この人物のもとで活動していた。また、抗日民族統一戦線の成立を促す契機となった(オ)で、その平和的解決に向けて大きな貢献をしたのも、この人物である。中華人民共和国の成立以降は、この人物は外交面で傑出した手腕を発揮するとともに、(カ)の過程では、(キ)たちによる激しい批判・攻撃を受けながらも、不当に迫害された人々の救出にも取り組んだ。

(3) この人物は、1907年に日本に留学し、その後、士官候補生として新潟県高田で日本陸軍に入隊して軍事教練を受けた。この1年間にわたる経験が、彼の軍人としての基本的な生活態度と思想を育んだ。その後、(ク)を率いて北伐を進め、この動きを警戒して増援されていた日本の軍隊と、(ケ)という都市で衝突した。この事件は、彼の対日感情を決定的に悪化させた。一方で、時代が下り、日中戦争が終結した直後には、この人物は、「敵はただ日本の好戦的軍閥のみで、日本の人民は敵ではない」として、敗戦国日本に対して寛大な対応を中国国民に求めるラジオ演説^(F)を行い、その内容は日本でもひろく知られるようになった。

(4) この人物は、1902年に日本に留学し、仙台医学専門学校で学んだが、医学への志を捨てて帰国した後、郷里の紹興で辛亥革命^(G)に遭遇した。後に、この革命前後の農村を舞台にして、一人の下層民を描いた小説(コ)を執筆した。そこには、革命を経ても実際には変化がみられない社会的現実に対する鋭い風刺が盛り込まれている。小説以外にも、多くの文学論争にかかわり、厳しい批判精神にもとづく辛辣なエッセイをたくさん書き残した。日中戦争時期、(サ)が、この人物を「偉大な思想家」「偉大な革命家」などと賞賛したために、中華人民共和国成立以降も、そのような評価が定着し、1980年代にいたるまで彼に対する自由な批判が許されなかった。

問1 空欄(ア)～(サ)に入る最も適切な語句はどれか。

- (ア) a 『民報』 b 『新青年』 c 『解放日報』 d 『申報』
e 『新民叢報』
- (イ) a 自由 b 平等 c 博愛 d 社会主義 e 科学
- (ウ) a 中国同盟会 b 興中会 c 中国共産党 d 中国国民党
e 中華革命党
- (エ) a 劉少奇 b 鄧小平 c 趙紫陽 d 周恩来
e 胡耀邦
- (オ) a 上海事変 b 五・四運動 c 南京事件
d 五・三〇運動 e 西安事件
- (カ) a 朝鮮戦争 b 整風運動 c プロレタリア文化大革命
d 土地改革 e 第1次五カ年計画
- (キ) a 実権派 b 毛沢東 c 江青 d 走資派 e 習近平
- (ク) a 国民革命軍 b 紅軍 c 人民解放軍 d 新軍
e 奉天軍閥
- (ケ) a 鄭州 b 天津 c 青島 d 奉天 e 済南
- (コ) a 『狂人日記』 b 『故郷』 c 『紅いコーリャン』
d 『阿Q正伝』 e 『家』
- (サ) a 孫文 b 汪精衛 c 胡耀邦 d 胡適 e 毛沢東

問2 下線部(A)の説明として、最も適切なものはどれか。

- a 理性を絶対視し、理性という光で従来の慣習・制度・社会の問題点を批判する思想であるが、フランス・ドイツでは流行しなかった。
- b この思想の影響で文芸活動は盛んとなり、代表的な作家としてシェークスピアやセルバンテスなどがいる。
- c 資本主義を批判し、働く民衆の協同と連帯により平等・公正・友愛にもとづく共同社会の実現をめざした。
- d この思想にもとづいてデイドロたちは『百科全書』を編纂したが、キリスト教批判も含まれていたため、教会からの圧迫が加えられた。
- e 人間の個性や感性を尊重し、反合理主義、反古典主義を特徴としており、文芸面ではバイロンやユゴーなどの文学作品を生み出した。

問3 下線部(B)の説明として、最も適切なものはどれか。

- a 第一次世界大戦後、戦勝国27カ国と敗戦諸国がともに参加する会議を開き、大戦の講和条件を討議した。
- b この会議において、戦勝国の領土的要求はすべて拒絶され、ウィルソンの十四カ条の平和原則が名実ともに実現した。
- c この会議で民族自決の原則がとえられたため、朝鮮ではこれに触発されて「朝鮮独立万歳」を叫ぶ民衆のデモが発生した。
- d この会議では、中国政府が提出した不平等条約撤廃の要求が拒否されたため、中国の世論は激高した。
- e この会議にもとづいて、オスマン帝国はその領土割譲を含むサン＝ジェルマン条約の調印を強要された。

問4 下線部(C)の説明として、最も適切なものはどれか。

- a 「財産、それは窃盗である」と述べて、労働にもとづかない私有財産を非難し、社会問題の解決を相互扶助に求めた。
- b 世界革命論を主張して、一国社会主義論を唱えるレーニンと鋭く対立して孤立した。
- c 国外追放後、反スターリン主義を掲げて政治運動を続けたが、メキシコで暗殺された。
- d 第1インターナショナルに加入したが、マルクスと理論的に対立し、除名された。
- e 社会民主党を理論的に指導した革命家であり、スパルタクス団を組織し、1919年の蜂起で虐殺された。

問5 下線部(D)に関する説明として、誤っているものはどれか。

- a この政策は経済発展を促す一方で、地域間格差や階層間格差をひろげた。
- b この政策によって人民公社が解体し、個別農家経営が始まった。
- c この政策を主導した人物は、政治の民主化には否定的な姿勢を示した。
- d 文章(2)の人物が提起した「四つの現代化」こそが、この政策の出発点である。
- e この政策で、まず着手されたのは都市の商工業改革であり、農村改革はしばらく放置された。

問6 下線部(E)について、その具体例として最も適切なものはどれか。

- a 平和五原則の提唱
- b 包括的核実験禁止条約の締結
- c 日華平和条約の締結
- d 原水爆禁止世界大会の実現
- e カイロ会談の開催

問7 下線部(F)の説明として、誤っているものはどれか。

- a この演説は、「以德報怨」演説とも呼ばれ、戦争終結直後の日本社会が中国に対して好意的な感情を抱くきっかけの一つとなった。
- b この演説の背景には、近い将来の内戦再開を見通し、日本と改めて協力関係を築くべきだという戦略的な判断があった。
- c この演説が行われた時期は、ソ連が中国東北地方・朝鮮・樺太に侵攻した後である。
- d この演説の最大の意図は、戦後におけるアメリカ合衆国の世界戦略に対抗するためであった。
- e この演説とそれに沿った措置は、戦争中に高まっていた中国の反日感情が、在留日本人への報復に向かうことを抑制するうえで一定の効果があった。

問8 下線部(G)の革命によって中国で実現した改革はどれか。

- a 科挙の廃止 b 国会の開設 c 最初の鉄道建設
- d 徴兵制の導入 e 憲法大綱の発布

3 以下の写真(A~D)について問(1~15)に答えなさい。解答は、問2のみ選択肢(a~j)から、それ以外は選択肢(a~e)から、最も適切なものを1つ選びなさい。

(A) 「ラオコーン」と題される、ヘレニズム彫刻の代表的作品である。

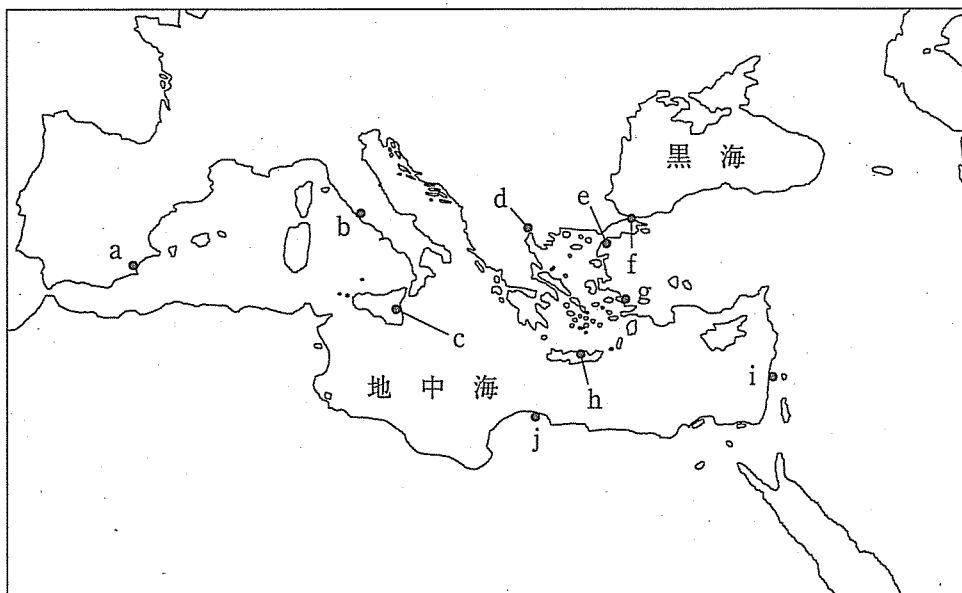


問1 ラオコーンが登場する出来事を描いた文学作品はどれか。

- a 『イリアス』 b 『ガリア戦記』 c 『ギルガメシュ叙事詩』
d 『ゲルマニア』 e 『労働と日々』

問2 (1) 問1の出来事が起こったとされる場所はどこか。

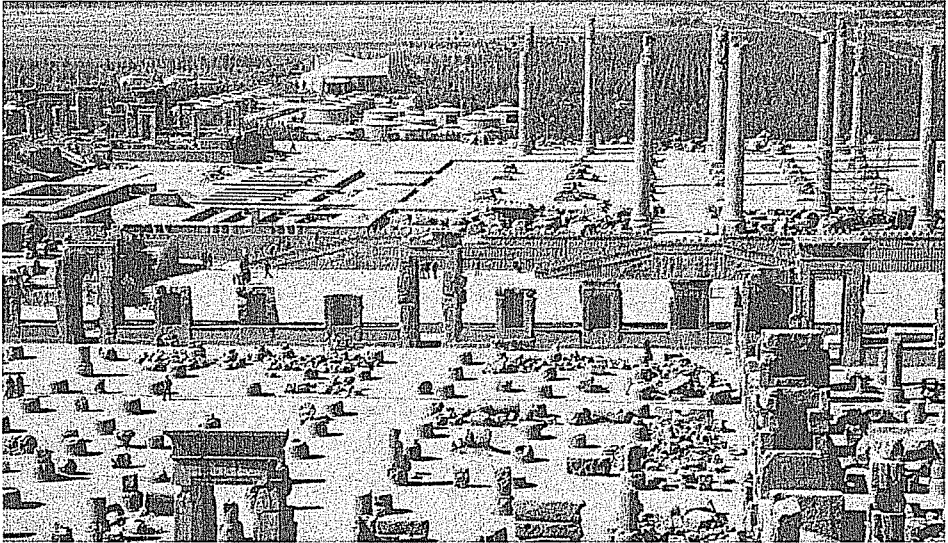
(2) この彫刻が発見されたのはどこか。



問3 問2(1)の遺跡を発掘した人物は誰か。

- a ヴェントリス b エヴァンズ c シャンポリオン
d シュリーマン e ローリンソン

(B) ユネスコの世界遺産に登録されている、現在のイランにある宮殿の遺跡である。



問4 この宮殿がかつてあった都市はどれか。

- a クテシフォン b サルデス c ニネヴェ d ペルセポリス
- e ミレトス

問5 この宮殿に火をはなち、この宮殿がかつてあった国を滅ぼした人物は誰か。

- a アウグストゥス b アルダシール1世
- c アレクサンドロス大王 d ダレイオス1世 e ポンペイウス

問6 この宮殿がかつてあった国が滅亡した年はいつか。

- a 前449年 b 前330年 c 前64年 d 前30年 e 224年

問7 この宮殿がかつてあった国についての説明で正しいものはどれか。

- a キュロス2世はバビロン捕囚中のユダヤ人を解放した。
- b 金属貨幣としては、この国で造られたエレクトラムが最古とされる。
- c 前6世紀半ば、キュロス1世によって建国された。
- d ダレイオス3世は行政官として「王の目」「王の耳」を定めた。
- e 東大寺の正倉院には、この国で作られた漆胡瓶が所蔵されている。

問8 この国の人々が信仰した宗教についての説明で正しいものはどれか。

- a ウイグルでは国教とされた。
- b 「最後の審判」が行われるという思想はイスラームにも大きな影響を与えた。
- c 世界を善神アーリマンと悪神アフラ＝マズダの戦いの場と考えた。
- d 南北朝時代の中国に伝わり、景教と呼ばれた。
- e シャープール1世が教典を文字化させたといわれている。

(C) ヴェネツィアのサン＝マルコ大聖堂に残る像である。



問9 この像が記念しているのはどれか。

- a 異教復興
- b 四帝分治制(テトラルキア)
- c ローマ市民権付与
- d 「ローマの平和」(パクス=ロマーナ)
- e 『ローマ法大全』編纂

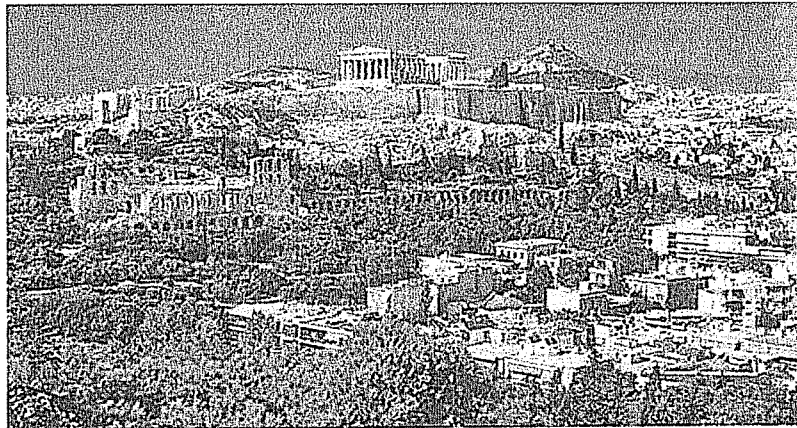
問10 問9の記念している事柄に関連する人物は誰か。

- a カラカラ帝
- b デイオクレティアヌス帝
- c ネルウァ帝
- d ユスティニアヌス1世
- e ユリアヌス帝

問11 この像は、ある出来事に際して、コンスタンティノーブルから略奪して運ばれてきたとされている。その出来事とはどれか。

- a エフェソス公会議
- b 国土回復運動(レコンキスタ)
- c 3世紀の危機
- d 第4回十字軍
- e ミトリダテス戦争

(D) これは遺跡が残る、ある都市の写真である。



問12 写真奥の丘の上の神殿には都市の守護神がまつられた。その守護神はどれか。

- a アテナ
- b アトン
- c アポロン
- d ゼウス
- e マニ

問13 この神殿が破壊されたのはいつか。

- a アマルナ改革
- b ニハーヴァンドの戦い
- c ユダヤ戦争
- d ヘイロータイ(ヘロット)の反乱
- e ペルシア戦争

問14 この都市についての正しい説明はどれか。

- a レウクトラの戦いでスパルタに勝利した。
- b ソロモンが建設した神殿の一部が「嘆きの壁」として残っている。
- c 図書館が存在し、大量の粘土板が発見された。
- d ドラコンにより、慣習法が成文化されたので、貴族による法知識の独占が破られた。
- e ナポレオンの遠征隊がここで発見した石碑には、3種類の文字が刻まれていた。

問15 この都市と最も関係が深い人物は誰か。

- a アッシュル=バニパル
- b アルキメデス
- c ダヴィデ王
- d ネフェルティティ
- e フェイディアス

4 下記の史料(I～IV)を読み、後の問(1～12)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)から最も適切なものを1つ選びなさい。(史料の出典は、歴史学研究会編『世界史史料』第5巻、岩波書店、2007年。[]は出題者による補足)

(I) 961年、王^(A)はクリスマスをパヴィーアで祝い、そこから進軍して好意的にローマ^(B)に迎え入れられた。そして、全ローマ人民と聖職者の歓呼の下、アルベリクスの息子である教皇ヨハネスによって、皇帝かつアウグストゥスへ任命され定められた。

問1 この史料は10世紀の出来事を記述しているが、同じ10世紀の出来事として誤っているものはどれか。

- a ウラディミル1世がギリシア正教に改宗した。
- b 西ゴート王国が滅亡した。 c カペー朝が成立した。
- d ロロがノルマンディー公に封じられた。

問2 下線部(A)について、この王の名称はどれか。

- a オットー1世 b ユーグ・カペー c カール大帝
- d ピピン

問3 下線部(A)の王またはこの王が統治した地域について述べた下記の文のうち、正しいものはどれか。

- a 王はパンノニア周辺を拠点としたアヴァールを討ち、対外的権威を向上させた。
- b 王はイタリアに介入するための遠征を積極的に行った。
- c 王の治世に東方植民が著しく進展し、人口の増加がみられた。
- d 王は聖職者の任命権を所持できず、教会の統制には失敗した。

問4 下線部(B)について、(1～2)に答えなさい。

(1) この都市について述べた下記の文のうち、正しいものはどれか。

- a この都市は、アラリック王が率いる西ゴート人に略奪された。
- b この都市は、ランゴバルド王国の都となった。
- c この都市は、『神曲』を著した人物の出身地である。
- d この都市では、ヴィスコンティ家がながく政治的実権を握っていた。

(2) この都市とならんで総大司教座(総主教座)となる教会が置かれた都市として誤っているものはどれか。

- a アレクサンドリア b アンティオキア c イエルサレム
- d エフェソス

(II) わが軍はベジエ〔南フランスの都市〕の城門に到達すると、使者としてこの町の司教ルノー・ド・モンペリエ師を市内へ送った。〔中略〕彼は住民に告げた。「われらは異端者を駆逐すべくこの地に来た。正統信者がいるならば、異端者をわれらに引き渡すがよい。われらは異端者を知悉していて、その名簿がある〔中略〕」。司教が十字軍に代わって告げると、住民はことごとく拒絶した。〔中略〕ベジエの占拠と破壊ののち、わが軍はただちにカルカソンヌ目指して進軍した。

問5 この史料が示す歴史的事象はどれか。

- a 第4回十字軍
- b カノッサの屈辱
- c アルビジョワ十字軍
- d 百年戦争

問6 下線部(C)について、古代・中世においてキリスト教異端とされた主張にあてはまらないのはどれか。

- a 父なる神、子なるキリスト、聖霊の3者は同質である。
- b キリストは神性のみを持つ。
- c イエスの神性と人性は分離している。
- d 世界は悪神と善神に支配されている。

問7 この史料が示す歴史的事象とほぼ同時期に起きた事柄はどれか。

- a フィリップ4世が三部会を開催した。
- b イヴァン3世が初めて「ツァーリ」の称号を使用した。
- c イサベルとフェルナンドがグラナダを陥落させた。
- d アッシジのフランチェスコが新たな修道会を結成し、伝道を行った。

(Ⅲ) この(ア)における神聖公会議は、普遍公会議を構成し、[中略]神の教会の頭と肢体にわたる統一と改革を生み出し全能の神を讃えるべく、聖霊において正当に会集した。[中略][この公会議は]戦う正統教会を代表し、キリストから権力を直接に受領している[中略]神の教会の全般的改革に関する事柄においては、いかなる地位・位階を持つ者であろうと、たとえ教皇位にあらうと、[中略]既に決定され、また決定されるであらう事柄に関して、服従することを頑なに拒むならば、相応しい処罰に服せしめられて然るべきなり。

問8 この史料は、15世紀初頭、教会の諸問題を解決するために行われた公会議で発された教令の一部であり、当時ベーメン(ボヘミア)一帯に勢力を保持していた異端に関する議論された。これについて、次の(1～3)に答えなさい。

(1) (ア)にはこの公会議が開かれた都市名が入る。正しいものはどれか。

- a リヨン b バーゼル c コンスタンツ d ローマ

(2) 「当時チェコ一帯に勢力を保持していた異端」の主導者は、当時の教会を批判したことでこの会議において処刑されることが決定したが、その人物名はどれか。

- a アベラール b フス c ウィクリフ
d マルティン＝ルター

(3) この公会議の開催と時期的に最も近い出来事はどれか。

- a 黒死病が流行し、西ヨーロッパの人口の約3分の1が失われた。
b ジャンヌ＝ダルクがイングランド軍のオルレアン包囲をやぶった。
c ワット＝タイラーが蜂起した。
d ドイツの大空位時代が終わった。

(IV) [この史料は、14世紀半ば頃に編纂された商業実務書の一節であり、編纂者はフィレンツェ人ペゴロッチイである。]

アレクサンドリア[について]

(D)

アレクサンドリアでは、次に分類するように、いくつもの重量単位がある。

[中略]レイティ・キンタールで販売されるもの。麻、[中略]胡椒。

イギリス[について]

イギリスの修道院の(イ)，集荷された(イ)について。各修道院が年間でどのくらい収穫するか。また[中略](ウ)で販売された(イ)価格はどうだったか。

問9 11世紀以降、この史料にもあるように主としてイタリア商人とイスラーム圏との商取引が活発化した。この商業活動を説明したものとして、誤っているものはどれか。

- a この貿易は地中海を經由して行われた。
- b 商人の中には、中国などさらに東へ赴く者も現れた。
- c この貿易は、香辛料や絹織物などを北西ヨーロッパにまでもたらした。
- d 「アドリア海の女王」と称されたピサは、この貿易を主導した。

問10 下線部(D)は、イスラーム圏屈指の商業都市である。この都市を領域に含まなかったイスラーム王朝はどれか。

- a アイユーブ朝
- b ファーティマ朝
- c ムラービト朝
- d マムルーク朝

問11 交易などを通じ、イスラーム圏からヨーロッパに伝わった思想や技術と見えないものはどれか。

- a 羅針盤
- b イコン
- c 古代ギリシア哲学
- d ゼロの概念

問12 東方との交易が盛んとなるなか、ヨーロッパにおける商取引も活発化し、複数の商業圏が成立していた。史料(IV)は北ヨーロッパにおける商取引の一端を示したものである。これについて、次の(1～2)に答えなさい。

(1) (イ)・(ウ)に入る語として正しい組み合わせはどれか。

- a 羊毛—フランドル b 羊毛—アキテーヌ
- c 毛織物—フランドル d 毛織物—アキテーヌ

(2) 中世における商業圏について述べた下記の文のうち、正しいものはどれか。

- a ブルゴーニュ地方の都市で開かれる国際的な大市は、各商業圏を取り結ぶ働きをした。
- b 商業活動の活発化にともない貨幣経済が浸透し、イタリアを中心に金融業が栄えた。
- c ハンブルクを盟主とするハンザ同盟はバルト海貿易を独占し、経済的繁栄を誇った。
- d 南ドイツのボルジア家は鉱山業で富豪となり、後には教皇になる者も出現した。

